

北部地区(児玉・大里)人権教育実践報告会

令和5年7月28日(金) 会場：深谷市民文化会館 他

1 全体会の概要

(1) 開会の言葉

実行委員会副委員長

(2) 挨拶

北部教育事務所長

実行委員会委員長

深谷市長

(3) 人権作文選考の経緯

人権作文選考委員長

(4) 人権作文の発表、感謝状・記念品の贈呈

・「わたしの妹」	本庄市立共和小学校	第4学年
・「ささえてくれる人の大切さ」	寄居町立用土小学校	第5学年
・「ぼくの得意技」	熊谷市立太田小学校	第6学年
・「言葉の意味」	深谷市立南中学校	第2学年
・「あの子を守る、あの人を救う」	美里町立美里中学校	第1学年
・「人の心が変わる時」	県立熊谷女子高等学校	第1学年

(5) 閉会の言葉

実行委員会副委員長

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
女性 (男女平等)	○多様性とそれを包み込む寛容性 ～上柴中学校の人権教育～ ○美里町立美里中学校における男女平等教育の取組
子供	○郷土を愛し、志を立て、自ら未来を切り開く児童 ～互いに認めあい、高めあう『育ちあえる絆づくり』～ ○思いやりの気持ちを高め、望ましい人間関係を築く児童の育成 ～きずなを深める教育活動の充実～
高齢者	○認知症の方に寄り添う気持ちを大切に ○身近な高齢者の視点に立つには ～保健授業における事例報告～
障害のある人	○障害福祉サービス事業所等の障害者(児)虐待防止・差別解消・合理的配慮への取組について ○共生社会をめざして ～色とりどりな上里中学校～
同和問題	○笑顔いっぱい・夢いっぱいの丹荘っ子の育成をめざして ～差別をゆるさない仲間づくりを通じた人権感覚の育成～ ○本庄市立本庄南中学校における同和教育 ～人権を尊重し合う共生社会の実現にむけて～
外国人・ インターネット による人権侵害	○自他の人権の尊重と思いやりの心の育成 ～広い視野をもち、外国籍児童と共に生きる～ ○生徒が主体的に判断し行動する情報モラル教育の実践

3 参加者の意見など

(1) 子供たちの人権作文の発表、毎回よい発表内容である。聞いた人の心が洗われる思いがする。今後、ずっと本会の報告会形式で続けていってほしい。

(2) 一人一人が自由に好きなように生きていける社会をめざして、今後も大人も子供も向き合っていかなければいけないことであると思いました。